

身近なところで学んでは・・・(その2)

本年度は、イベント・講座・サークル活動などが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止あるいは規模縮小で実施されています。

そこで、身近にある各地域のまち（むら）づくり協議会主催の各種講座に参加してみたいかががでしょう。身近だから参加しやすいでしょうし、よく知った仲間との活動となります。今月は、日野上・山上・阿毘縁・大宮の各まち（むら）づくり協議会の各種講座を紹介します。他地域の方でも参加可能なものがありますので、各まち（むら）づくり協議会に連絡してみてください。

【日野上まちづくり協議会】☎82-0318

◇しめ縄づくり教室（現在開催未定）

【山上まちづくりの会】☎82-0933

◇寄せ植え教室（12月）

【阿毘縁むらづくり協議会】☎87-0606

◇もみの木講座

（個人制作で実施する：文化祭展示作品の制作等）

◇子どもとの交流事業（開催予定：期日未定）

【大宮まちづくり協議会】☎87-0611

◇ミニ門松づくり（12月）

◇絵手紙教室（2月）

なお、各まち（むら）づくり協議会ともコロナ禍のため、延期や中止をせざるを得ないなか、少人数で対応するため2部交代制で講座や教室等を実施したり、時間差を設けたりして対応している講座もあります。

家に閉じこもらずにコロナ感染に気をつけながら、趣味を見つけて、脳を活性化させてはいかがでしょうか。

外国語指導助手  
ハンセカーの

Happy Column

最近、パセオに行ったら、お店にハロウインの飾りがありますよね。また、お菓子のパッケージにもハロウインのデザインが見られますよね。日本でハロウインは有名で、日本人はハロウインパーティーをしたり、ハロウインキャンディを食べたりします。しかし、ハロウインの始まりをご存じですか？また「トリックオアトリート」の意味をおわかりですか？

実は、ハロウインはケルト人の休日です。2000年前に住んでいたケルト人は、ハロウインに作物を滅すといわれるお化けを追い払うために仮装して火を燃やしました。また、ケルト人にとって10月31日は、夏の収穫の終わりで冬の始まりでもあります。

アメリカで、ハロウインはクリスマスに次いでお金が使われる休日です。毎年、ハロウインの飾りとお菓子を買うために、アメリカ人は60億円を使います。ハロウインの「トリックオアトリート」は、安価で近所の人と一緒に楽しめるので、とても人気です。お菓子をもらうために、近所の家を「トリックオアトリート」と言って回ります。この「トリックオアトリート」の意味は「お菓子をくれないとイタズラするぞ」という意味です。

Recently, when you go to Paseo, you can see Halloween decorations at the front of the store. Also, you can see that many food packages are selling their food with special Halloween designs. Halloween is celebrated in Japan with people throwing Halloween parties and eating Halloween candy on Halloween day. But what really is Halloween and what does “Trick or Treat” mean?

Halloween is originally a Celtic holiday. The Celts, who lived in present day Ireland 2000 years ago, on Halloween would light bonfires and wear costumes to scare off ghosts that they believed would damage their crops. Also, October 31st marks the end of the summer harvest and the beginning of Winter.

Now, this Celtic holiday became the second largest commercial holiday in the United States, after Christmas. Every year, Americans will spend 6 billion dollars on Halloween candy and decorations. Halloween is a popular holiday for Americans since it can be an inexpensive way to have fun and to bond with their neighbors and families through “Trick or Treating”. “Trick or Treat” is said as kids go from house to house, asking for candy. Specifically, “Treat” refers to getting candy. On the other hand, “Trick” refers to that if candy is not given, the child asking for candy will do something mischievous.

英語のポイント：「Trick or Treat!」

「お菓子をくれないとイタズラするぞ」

参考文献 <https://www.history.com/topics/halloween/history-of-halloween>

